

# 熊本・八代地域の地震関係年表

八代市立博物館未来の森ミュージアム学芸係長 島津亮二

|      |      |   |
|------|------|---|
| 744  | 天平16 | 5月、雷雨と大地震。八代・天草・葦北三郡の官舎、田290余町、民家470余区が水没。溺死1520余人。山崩れ280余ヶ所、圧死40余人。賑恤。(『続日本紀』) ※推定M7(推進本部HP)   |
| 869  | 貞観11 | この年、肥後国「地震風水」により大被害。(『三代実録』) ※同年7月、陸奥大地震「肥後国に地震風水の有て、舎宅悉く仆顛り、人民多流亡たり」   |
| 1507 | 永正4  | 2月、肥後地震。(『災異誌』)   |
| 1534 | 天文3  | 9月12日、地震。10月7日、地震。(『八代日記』)  |
| 1538 | 天文7  | 6月17日、地震。10月2日卯刻(6時)、地震。10月16日寅刻(4時)、地震。(『八代日記』)  |
| 1544 | 天文13 | 4月22日寅刻(4時)、地震。(『八代日記』)   |
| 1546 | 天文15 | 7月13日、地震3回。7月14日寅刻(4時)、地震。(『八代日記』)  |
| 1547 | 天文16 | 2月10日、地震。2月11日、地震。(『八代日記』)  |
| 1551 | 天文20 | 5月24日申刻(16時)、地震。(『八代日記』)  |
| 1553 | 天文22 | 8月28日卯刻(6時)、地震。(『八代日記』)   |
| 1558 | 永禄元  | 3月29日卯刻(6時)、地震。(『八代日記』)   |
| 1561 | 永禄4  | 3月11日卯刻(6時)、地震。10月17日卯刻(6時)、地震。11月28日卯刻(6時)、地震。(『八代日記』)   |
| 1563 | 永禄6  | 4月28日子刻(0時)、地震。6月17日未刻(14時)、大地震。7月19日巳刻(10時)、地震。12月21日辰刻(8時)、地震。(『八代日記』)  |
| 1619 | 元和5  | 3月17日、八代大地震、麦島城倒壊。 ※推定M6.0~6.2(推進本部HP)<br>「山鳴り谷応え、潮翻り水湧き」「死傷するもの多数」「都会忽ち変じて荒陵」(『浄信寺興起録』)<br>「卯ノ刻ヨリ大地震、午ノ刻ニ到リ城楼崩壊」(『肥後国誌』) 「年中ゆる」(『相良年代記』)<br>同年秋、幕府より移転新築の許可を得て、加藤正方、縄張り(城・町の設計)に着手。<br>翌年、加藤正方は人吉相良氏に新城建築の木材支援を要望。元和8年(1622)2月、新城竣工。 |
| 1625 | 寛永2  | 6月17日、熊本大地震。熊本城天守付近の石壁・石垣・城内屋敷が被災し、煙硝蔵が爆発。死者50余名。(『加藤忠広公伝記資料』) ※推定M5.0~6.0(推進本部HP)  |
| 1642 | 寛永19 | 5月28日夜、肥後にて地震4回。(『年表稿』)   |
| 1643 | 寛永20 | 3月28日夜、肥後地方地震4回。(『年表稿』)   |
| 1648 | 慶安元  | 9月2日早朝、肥後にて地震。(『年表稿』)   |
| 1651 | 慶安4  | 9月2日、肥後にて地震。(『年表稿』)   |
| 1661 | 寛文元  | 7月10日、肥後地震。翌日までに中小地震3回。(『年表稿』)  |
| 1662 | 寛文2  | 9月19日夜、肥後地震。10月19日、球磨地震。(『年表稿』)   |
| 1665 | 寛文5  | 4月10日、肥後地方大地震、一日中に4回。(『年表稿』)  |
| 1695 | 元禄8  | 4月、肥後地震。(『年表稿』)   |
| 1699 | 元禄12 | 6月、地震。益城無田被害あり。(『災異誌』)  |
| 1705 | 宝永2  | 閏4月2日、肥後地震。丑刻より卯刻(2時~6時)まで地震。この年、阿蘇大地震。(『年表稿』)  |

|      |      |  |
|------|------|--|
| 1706 | 宝永3  | 4月、肥後大地震。大地破れ家屋の倒壊、圧死するもの多数。(『年表稿』)  |
| 1707 | 宝永4  | 10月4日、「宝永大地震」。 ※推定M8.6(推進本部HP)<br>肥後でも被害多く、人吉城が大破損。郡中の被害甚大。(『災異誌』)<br>八代城の櫓2か所や大書院も破損。植柳妙見宮の鳥居が倒壊。(『八代市史近世資料編Ⅹ』)   |
| 1723 | 享保8  | 11月22日、肥後大地震。朝3回、夜3回揺れる。山鹿で被害甚大。山本郡慈恩寺で温泉湧く。(『災異誌』) 死者2人、負傷者25人、家屋倒壊980棟。 ※推定M6.5(推進本部HP)<br>12月11日夜、地震。12月28日夜、地震。(『災異誌』)   |
| 1725 | 享保10 | 9月25日、天草地方大地震。26日・27日・28日と余震あり。(『災異誌』)   |
| 1744 | 延享元  | 8月5日辰刻(8時)、熊本にて地震。(『災異誌』)  |
| 1769 | 明和6  | 6月11日、肥後川尻大地震。(『災異誌』)<br>7月28日未刻(14時)、豊後・日向沖大地震。 ※推定M7.8(推進本部HP)<br>熊本でも死者1人、家屋倒壊115棟。<br>8月1日、熊本・川尻にて大風・地震。 11月7日、大風・地震。(『年表稿』)   |
| 1777 | 安永6  | 1月8日夜四ツ時(22時)、肥後大地震。一夜に7度、翌日も度々揺れる。(『災異誌』)   |
| 1778 | 安永7  | 2月5日、熊本・川尻にて大地震3回。(『災異誌』)  |
| 1779 | 安永8  | 9月29日、桜島大噴火。肥後地方でも地震頻発。(『災異誌』)   |
| 1789 | 寛政元  | 10月8日、熊本大地震。この日までに7日間昼夜数度揺れる。(『災異誌』)   |
| 1792 | 寛政4  | 3月1日、熊本地方大地震。13回強震。これより連日地震やまず。(『災異誌』)<br>「戸障子鳴動事不軽、二日朝迄二都合十度計鳴動ク」(当館所蔵『万物日記覚』)<br>4月1日、雲仙岳大爆発。津波発生により玉名・飽田・宇土郡にて死者5,000人超。(『年表稿』)<br><br>寛政大津波教訓碑(熊本市西区船津町亀石の石碑、寛政7年10月に鹿子木量平が建立)<br><br>「渚近くよせ来る音におどろきて、あわててさわぎにげざらんとせしうち、欲心をわすれがたく、濱に出でて船をつなぎとめんとし、家にあがりて資材をとり出んとせし者はことごとく溺死せり、たまたま欲にひかれず速ににげ去りし者のみ危うき命たすかり」<br>「後代にかかる事あらん時は、欲をはなれ、万の物を顧ず、ただ老たるをたすけ、幼をたつさへて、速にさげのくべし、かねて其道をもあたため置て、急難にのぞみてまようことなかれ」 (『新宇土市史』資料編第2巻に全文翻刻) |
| 1808 | 文化5  | 11月3日、熊本地震。(『災異誌』)   |
| 1827 | 文政10 | 4月、5月、熊本地震頻発。(『年表稿』)   |
| 1828 | 文政11 | 4月13日、八代地方地震5回。(『年表稿』) 夜四ツ時(22時)頃大地震。夜中度々揺れ、14日朝まで余震あり。高潮満ち各所浸水。4月20日、21日、24日に余震。(『災異誌』)   |
| 1841 | 天保12 | 6月15日昼夜、3・4度地震。八代・葦北地方面強し。21日にも強震。(『災異誌』)  |
| 1844 | 弘化元  | 6月25日から28日昼夜度々地震。久住・北里殊に激しく、杖立村にて大石山より落ち、家屋を打ち崩す。その他落石道筋引き割れ個所あり。(『災異誌』)   |
| 1848 | 弘化4  | 1月25日、熊本地震。熊本城で石垣損壊、座敷の壁が落ちるなどの被害。(災害履歴DB)   |
| 1854 | 安政元  | 11月5日、「安政南海地震」。 ※推定M8.4(推進本部HP)<br>肥後でも被害甚大。死者6人、家屋全壊907棟。余震数日に及ぶ。(『災異誌』) (推進本部HP)<br>坂本町真法寺過去帳「十一月四日七ツ時、大地シン来テ球麻・八代家蔵タラレ、同六日昼朝五ツ半大地シン、右五日迄数度之事故、海川ノ水増、末々ノタメシニ書残申候」(『坂本村史』)  |
| 1855 | 安政2  | 11月5日、大地震(『災異誌』)   |